



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 丸順

コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 今川 喜章

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長

(氏名) 小高 光一

TEL 0584-89-8181

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	15,135	4.3	△438	—	△589	—	△613	—
26年3月期第1四半期	14,512	19.9	431	—	479	—	305	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △1,180百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 1,510百万円 (266.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第1四半期	△69.97	—
26年3月期第1四半期	31.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	52,368	11,099	13.7
26年3月期	54,303	11,889	14.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 7,157百万円 26年3月期 7,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	31,000	0.9	△700	—	△1,100	—	△1,100	—	△125.48
通期	68,000	3.0	1,100	65.2	400	4.2	20	△97.9	2.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	9,771,000 株	26年3月期	9,771,000 株
27年3月期1Q	1,004,855 株	26年3月期	1,004,855 株
27年3月期1Q	8,766,145 株	26年3月期1Q	9,766,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国ではリーマン危機後の構造調整の更なる進展を背景に、一進一退を繰り返しながらも、緩やかな自立的回復による消費の拡大が見込まれており、欧州では欧州中央銀行が低インフレ脱却から本格的な景気回復に向けて追加金融緩和措置を発表したほか、アジア新興国では回復ペースが鈍化し、経済規模が大きい中国の牽引力が弱まるなど、全体として緩やかな回復基調を維持しながらも景気失速のリスクを抱えた状況で推移いたしました。

当社グループが属する自動車業界においては、米国では引き続き消費者の買い替え需要が堅調に推移し、中国では大気汚染深刻化による自動車ナンバープレート発給制限の動きが大都市を中心に広がりを見せはじめ、市場の冷え込みが懸念されており、日本国内では政府の経済政策が景気を下支えするものの、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動がみられ、国内市場は減速いたしました。また、衝突安全性能や環境問題などの社会的な要求は高まり続けており、業界として対処すべき課題は年々増え続けております。

このような状況のもと、当社グループは、平成26年度4月より新中期3ヵ年計画である第6次中期経営計画をスタートさせ、国内収益の改善をはじめとする様々な施策に取り組み、国内事業の自主自立、競争力の強化など、基盤収益の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15,135百万円(前年同四半期比4.3%増)、営業損失は438百万円(前年同四半期は431百万円の営業利益)、経常損失は589百万円(前年同四半期は479百万円の経常利益)、四半期純損失は613百万円(前年同四半期は305百万円の四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(丸順)

丸順においては、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動減の影響が最小限に留まり、また、金型部門の受注増加などにより売上高は増加したものの、新機種専用投資に伴う設備償却費や外注に関わる費用の増加などにより利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は4,009百万円(前年同四半期比8.4%増)、経常利益は95百万円(前年同四半期比38.5%減)となりました。

(タイ)

タイにおいては、長引く政情不安などによる主要取引先の減産の影響を受け、売上減に伴う設備費及び労務費などによる固定費負担の増加により、売上高、利益ともに前年同四半期を下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,734百万円(前年同四半期比45.3%減)、経常損失は490百万円(前年同四半期は322百万円の経常利益)となりました。

(広州)

広州においては、大気汚染と交通渋滞の深刻化に伴う環境規制の強化により、消費者の需要減少が懸念されるものの、中国の安定した経済成長の影響を受けて需要が高まり、売上高、利益ともに前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は3,673百万円(前年同四半期比70.4%増)、経常利益は114百万円(前年同四半期比555.0%増)となりました。

(武漢)

武漢においては、広州と同様に中国の安定した経済成長の影響を受けて需要が高まったほか、主要顧客の生産拡大などにより、売上高、利益ともに前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,631百万円(前年同四半期比46.3%増)、経常利益は171百万円(前年同四半期比100.1%増)となりました。

(インディアナ)

インディアナにおいては、主要取引先の減産の影響を受けたほか、品質コストの上昇などに伴う製造原価負担の増加により、売上高、利益ともに前年同四半期を下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は4,171百万円(前年同四半期比8.6%減)、経常損失は166百万円(前年同四半期は124百万円の経常利益)となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動減の影響を大きく受けたものの、平成25年12月の新規出店の売上が増収に寄与し、また、保険及びサービスも好調に推移したことにより、売上高は前年同四半期を上回る状況で推移し、利益は改善いたしました。

以上の結果、売上高は713百万円(前年同四半期比27.4%増)、経常損失は8百万円(前年同四半期は11百万円の経常損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、52,368百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,935百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が803百万円減少、受取手形及び売掛金が1,895百万円減少、仕掛品が192百万円増加、有形固定資産が458百万円増加したことが要因であります。

負債総額は41,268百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,145百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,699百万円減少、短期借入金が488百万円増加、長期借入金が617百万円増加、リース債務が79百万円増加したことが要因であります。

純資産は11,099百万円となり、前連結会計年度末と比較し、789百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が223百万円減少、為替換算調整勘定が405百万円減少したことが要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
(税金費用の計算)	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
(退職給付に関する会計基準等の適用)	<p>「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法をイールドカーブ直接アプローチへ変更いたしました。</p> <p>退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。</p> <p>この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が83百万円増加及び退職給付に係る負債が353百万円減少し、利益剰余金が407百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3百万円増加しております。</p>

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,486	1,683
受取手形及び売掛金	10,103	8,208
製品	494	742
仕掛品	2,395	2,587
原材料及び貯蔵品	1,639	1,483
その他	2,024	2,002
貸倒引当金	△12	△8
流動資産合計	19,131	16,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,739	8,159
機械装置及び運搬具(純額)	7,294	8,218
工具、器具及び備品(純額)	6,544	6,021
土地	2,164	2,159
リース資産(純額)	1,251	1,707
建設仮勘定	9,001	7,187
有形固定資産合計	32,995	33,454
無形固定資産	246	230
投資その他の資産		
その他	1,946	2,001
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	1,929	1,984
固定資産合計	35,172	35,669
資産合計	54,303	52,368

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,062	7,362
短期借入金	14,573	15,061
リース債務	336	547
未払法人税等	457	85
賞与引当金	223	201
その他	4,017	4,112
流動負債合計	28,671	27,372
固定負債		
退職給付に係る負債	1,397	1,057
長期借入金	10,690	11,307
リース債務	1,030	898
資産除去債務	86	86
負ののれん	2	1
その他	537	544
固定負債合計	13,743	13,896
負債合計	42,414	41,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	4,668	4,445
自己株式	△626	△626
株主資本合計	6,015	5,791
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△323	△305
その他有価証券評価差額金	464	455
為替換算調整勘定	1,620	1,215
その他の包括利益累計額合計	1,761	1,365
少数株主持分	4,112	3,942
純資産合計	11,889	11,099
負債純資産合計	54,303	52,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	14,512	15,135
売上原価	12,907	14,492
売上総利益	1,605	643
販売費及び一般管理費	1,174	1,081
営業利益又は営業損失(△)	431	△438
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	8	6
為替差益	155	—
その他	13	24
営業外収益合計	178	34
営業外費用		
支払利息	119	164
為替差損	—	14
その他	10	6
営業外費用合計	130	185
経常利益又は経常損失(△)	479	△589
特別利益		
固定資産売却益	1	11
その他	49	32
特別利益合計	50	43
特別損失		
固定資産売却損	5	1
特別損失合計	5	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	524	△547
法人税等	142	70
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	381	△618
少数株主利益又は少数株主損失(△)	75	△4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	305	△613

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	381	△618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	△8
為替換算調整勘定	1,089	△570
退職給付に係る調整額	—	17
その他の包括利益合計	1,128	△561
四半期包括利益	1,510	△1,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,164	△1,009
少数株主に係る四半期包括利益	345	△170

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディアナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,100	3,166	2,050	1,071	4,565	558	14,512
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	597	2	104	43	0	2	750
計	3,698	3,169	2,155	1,115	4,565	560	15,263
セグメント利益又は損失(△)	155	322	17	85	124	△11	692

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	692
セグメント間取引消去	△42
子会社配当金	△169
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の経常利益	479

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディアナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,353	1,724	3,613	1,561	4,171	711	15,135
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	656	9	59	69	0	2	798
計	4,009	1,734	3,673	1,631	4,171	713	15,934
セグメント利益又は損失(△)	95	△490	114	171	△166	△8	△284

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△284
セグメント間取引消去	△4
子会社配当金	△298
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の経常利益	△589

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。